

招 集 期 日	平 成 2 7 年 8 月 6 日 (木)		開会の場所	羽生市役所 301 会議室
開会の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 3 時 0 0 分	開 会 者	委 員 長
	閉会の時刻	午後 3 時 3 0 分	閉 会 者	委 員 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
石 井 康 三	出 席	春 山 教 子	出 席	
岩 本 一 盛	出 席	小 島 敏 之	出 席	
古 市 明	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	山畑学校教育部長	栗原学校教育課長		
書 記 名	学校教育課長 栗原			
会 議 事 件 名	て ん 末			
開 会	石井委員長	平成 2 7 年 第 3 回 臨 時 教 育 委 員 会 の 開 会 を 宣 し た。		
	石井委員長	教育委員会の会議は、原則公開である。人事に関する事件、その他の事件について、出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した時は公開しないことが出来る。本日の日程で、議案第 47 号については、教科用図書採択に関するもののため、議決の部分について非公開としてよろしいか。		
		異議なしの声あり。		
	石井委員長	議案第 47 号の議決部分については非公開審議とする。		
	石井委員長	傍聴人はあるか。		
	学校教育課長	なし。		
	石井委員長	議案第 47 号について、学校教育課長より説明を求めた。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第 1 議案第 47 号 平成28年度使用中学校 教科用図書採択について</p>	<p>学校教育課長</p> <p>石井委員長</p> <p>教育長</p>	<p>平成 28 年度使用中学校教科用図書の採択について議決を求め る。羽生市は加須市とともに第 19 採択地区となっており、共同採 択地区内の市町村教育委員会は協議の結果に基づいて科目ごとに 同一の教科用図書を採択することとなっている。採択の結果につ いては、採択地区の内部規定により、後に行った教育委員会の議 決を待ち、翌日ホームページにて同時に公表している。加須市教 育委員会では、既に審議が終了しているため、本日の羽生市教 育委員会終了後の明日、8 月 7 日がホームページでの公表日となる。</p> <p>審議の前に、第 19 採択地区協議会会長である小島教育長より選 定について説明願う。</p> <p>1 回目の採択会議は採択地区ごとに行った。2 回目の会議は第 18、 19 地区合同で行い、調査結果等を聴取した。3 回目の会議で最終 的な投票を行った。そして本日の報告となる。採択委員は、羽生 市から石井委員長、春山委員と私、加須市からも教育長、委員長、 教育委員一人とそれぞれ 3 人の計 6 人で採択会議を開催した。会 議は午前 9 時から始まり、午後 4 時頃までと、長時間に渡った。 会議の内容、意見等について何点か報告する。</p> <p>まず、国語科はすべての教科の基幹となるものであり、発行者 が基幹教科であること、日本人のアイデンティティを築く教科で あることを視点においているかどうか注目し、教科書を選んだ と言う意見があった。小学校から中学校の見通しを付けやすいと いう点で、大変分かり易い内容にどれもなっているが、ページの 割振りを見ると、ほとんどの教科書が学習内容を均等に扱ってい るため、ある部分に力を入れているような教科書会社の特色が見 えてもいいのではないかと意見もあった。全ての教科に言える が、子ども達にとって何が一番良いかということが大切である。 先生方が教えやすいということが、果たして良いことか。教材研 究しなくても教え易いというのであれば間違いである。教え易い ということは、生徒にとって、分かり易く教えられるということ であれば良いのではないかと意見もあった。その他、写真の</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>使用が多いが、写真の意図が不明であったり、説明がくどかったり等、沢山の意見が交わされた。</p> <p>次に、書写は現在使用しているものが国語と発行者が違うため、同じ発行者の方が子ども達は学びやすいのではないかという意見もあったが、書写と国語が同じでなければいけないというほどのものでもなく、より生活に密着するように、意図が感じられる教科書もあると、反対の意見も出ていた。どの教科書も日常生活に生きる書写力を意識している。実生活に関わりながら基本をしっかり見つめていくことを大切にし、基本を徹底している教科書もある。基本をどれだけ重点を置いているかという観点で選んだとの意見もあった。</p> <p>続いて社会の地理だが、地理では写真の効果、活用が大切である。領土問題については、一社だけが島の様子、資源、農業について書かれている。各社とも良く出来ており、方向性もしっかりしており、身近な国について調べることが今の時代には大切ではないか。沢山写真が載っているのも良いが、ひとつの写真で考えさせることも大切だろう。学習指導要領が反映されているか、領土問題についても分量に差があるようだ等の意見があった。</p> <p>歴史については、内容のバランスについて視点として選んだ。小学校3年生から7年間の社会科教育を考えると、小中の連携も大切にしたい。また、歴史や公民は偏向教育し易いため、特に中立性を意識していかなければならないのではないかという意見もあった。今までは歴史を学ぶであったが、これからは課題に対してどのように考えるのか、歴史で学ぶ、歴史から学ぶことが大切である。地域の実態も大切であるし、考え方の方向性を決めてしまうことは大変危険である。多様な考え方が出ることが大切ではないかという意見があった。そのような観点で選んでいる。</p> <p>公民についてであるが、公民をしっかり学習していれば、国民として資質が高められる。教科書には史実や資料のバランスに差があると感じた。公民は生徒にとって難しいが、これを易しく教え、興味関心が高められる教科書が良い。選挙権が18歳に引き下げられるとの話もあるが、中学校の公民はどうあるべきかを考えていかなければならない。子ども達に関心を持たせ、自分で考えさせることが大切である。子ども達の趣向を方向付けてしまわず、多様な考えを持てる教科書が良いとの意見がここでも出ていた。</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>地図であるが、全ページを比較してほぼ同じ内容だが、帝国書院は新鮮であり、東京書籍は淡い色を使っている。2社とも似ているが、帝国書院は鳥瞰図に特徴があり、前よりも見やすくなっている。きれい、面白い、また見たいと思えるものが良いのではないかという意見があった。</p> <p>数学は、基礎から発展までの問題が一人一人の生徒に合っていると報告されていたものを選んだ。もう一度復習してみようと思わせるもの、全ての生徒に教育的な効果がより期待出来る教科書はどれか考えた。啓林館は特に発展的な教材が多いと感じた。地域の実体から全ての生徒に基礎、基本を身に付けさせたい、各学年の導入を見ると各社ともに違う、子ども達が自学自習をし易いのはどれか、専門調査員の報告書も参考にした。出来ない子は出来るように、出来る子はもっと伸ばしてあげられるものが良い。生活に生きる数学という視点がないと数学の必要性が感じられない、そのような観点から言うと啓林館が良いが、東京書籍も頑張っている。</p> <p>理科については、事実に、実用的、発展的な教科書に決めた。どの教科書も理科離れの防止に重点を置いているが、これが行き過ぎて理科の本質を忘れても良くない。各社単元の配列に違いがあるが、地域の実体を考えると、植物から入るのが良いと思われる。専門委員の報告書と各学校からの報告書を参考にした。東京書籍は絵が多い、教育出版は字の配列が読みにくい。啓林館はマイノートが付いていて、本書とマイノートの2つを合わせて教科書とすることで生きていくのではないかという意見が出た。</p> <p>音楽（一般）であるが、教育出版は洋楽が多く、教育芸術社は古典的な曲が多い。日本古来のものが多いほうが良いのではないか。音楽は自学自習がなかなか出来ない。音楽の先生が使いやすいものにしたい。多くの生徒が無理なく取組める音域の中で、教材が選択されている教育芸術社が良いのではないかという意見が出た。練習曲の数は、教育芸術社は独奏教材が多く、二重奏以上は教育出版が多い、等の意見が出た。</p> <p>美術は、生徒の作品の掲載が多いのは開隆堂であり、大きいサイズになっている。斬新な絵、日本の古典的な絵が両方掲載されているものを選んだ。小学校は作品を見て描いてみたいという気持ちを起こせるものが良いが、中学校は技術的なもの、かつ生徒</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>の力量に合ったものが良い。生徒の発想は作品の多さではなく、心を揺さぶる資料が必要であるという意見があった。</p> <p>体育では、薬物や熱中症のような今日的な課題を積極的に取り入れる必要があるのではないかという意見があった。</p> <p>技術・家庭（技術）は、基礎技術が充実している。職業との関連が書かれているもの、報告書の創作等それぞれ良さがある。読みやすい配色で、生徒が分かり易いかどうかを判断基準とした。一社だけサイズが大きい。技術は作業が多いため、見易く安全について伝えることも大切である。</p> <p>技術・家庭（家庭）は、家族にとって最初の学習として、調理について興味がある生徒も多いので、最初に扱ってはどうか。興味関心がある調理についてグループ活動を通して最初に扱う意味もあるだろう。家庭科は生活に一番身近な教科であると思われる、色遣い、写真の使われ方も参考にしたい、そのような観点で選んでいる。</p> <p>英語は、以前よりも会話文が多くなり、実用的になっている。登場人物が会話している等、絵と文字が入っているものを選んだ。英語で何を学ぶのか、英語が生活の中に入っている光村図書出版のCLIL（英語で学び考えよう）では実践的な他教科との関連が学習出来る。コミュニケーション能力の育成を目指して、総合的に力を付けようとしているのは、開隆堂である。小学校の外国語活動では聞く、話すという内容だが、中学校では、読む、書くにスムーズに入れることが大切であろう。そのような観点で選んだということであった。</p> <p>委員長、春山委員からは他に何かあるか。</p> <p>石井委員長 教育長の解説で出揃っていると思う。</p> <p>教育長 このように討論した後、投票に移った。教科ごとに記名投票し、過半数の票が入ったものについて採用していく形をとった。採択委員には採択する権限を与えられるが、同時に採択することに対する責任も与えられている。その権限と責任の基に地域の実体を十分考慮して子ども達にとって何が一番良いのか、加えて公正、公平性を確保し、採択することとしたものである。</p>

会議事件名	て ん 末	
	石井委員長	<p>議案第 47 号について、質問・意見を求めた。</p> <p>なし</p>
	石井委員長	<p>議案第 47 号について、採決に移る。採決については、非公開とする。</p>
	学校教育課長	<p>審議をふまえ、19 採択地区教科用図書採択協議会会長からの通知を受け、決定となる。通知の別紙にはそれぞれの教科の選定結果と、主な選定の主な理由等が記載されている。採択（案）は、国語 光村図書、書写 光村図書、社会（地理） 東京書籍、社会（歴史） 東京書籍、社会（公民） 東京書籍、地図 帝国書院、数学 啓林館、理科 啓林館、音楽（一般） 教育芸術社、音楽（器楽） 教育芸術社、美術 日本文教出版、保健体育 東京書籍、技術・家庭（技術） 東京書籍、技術・家庭（家庭） 東京書籍、英語 開隆堂となっている。</p>
	教育長	<p>今までの教科書と発行者が変わるのは、書写、理科、美術の 3 教科となっている。</p>
	石井委員長	<p>議案第 47 号についてはよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり。</p>
	石井委員長	<p>議案第 47 号は可決された旨、宣した。</p>
	石井委員長	<p>閉会を宣した。</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>委員長 _____</p> <p>委員 _____</p> <p>委員 _____</p> <p>書記 _____</p>